

# グループホーム フェニックス苑

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↓ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		利用者、職員共に同じカードを首から着用し、存在を明らかに散歩に出掛けている
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		日々の業務中、笑顔で接することを第一にその人らしさを大切に、不安を抱くことなく過ごして頂くために些細なことも傾聴することを怠らない
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		意見・要望等改善できた点、できなかった点などフェニックス苑だよりを作成しご家族に送付している
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		苑外に出る機械を増やし多くの利用者・スタッフとの外出の場を持ちたい
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		地域の祭りなど利用者の楽しみでもある場所への活動の幅を拡げていきたい また、広報啓発運動に力を入れていきたい

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今のところ、これといった取り組みは出来ていない		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日常の業務に追われる中でも、個々の援助に工夫を凝らし、職員全体の意識を高めていく		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生員、あんしん会相談員、家族代表等の現状の評価、また今後の課題点として様々な意見を伺い、実現に向けての努力を業務の中に取り込んでいる		積極的に意見・要望への取り組みを説明し、発言を促すよう努力している
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			社会資源活用の窓口、情報収集の窓口、連絡・相談の窓口として連携を図っていきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ご家族が入居者に関する全般のことをされており、相談がある場合は必要に応じている		研修会や講習の機会があれば、積極的に参加し内部研修としても伝達していきたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会で虐待防止についても職員の認識を高め、日々の業務に注意を払っている		日常業務の中に類似した言動はないか職員同士で注意し業務にあたっている

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に入居者・家族等へ理解しやすいよう平易な言葉で十分な説明を行い、書面にて同意を得ている</p>		<p>契約時のないように関するその後の疑問点の有無や相談事に応じている</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の声は認知症を伴う内容であるとしても必ず耳を傾けている職員間でもカンファレンス時に取り上げている意見箱の利用も声かけしている</p>		<p>ホール内に意見箱を設置し、利用者の方に気軽に利用出来るものとしている 日常、字を書く機会が少ない事もありレクリエーションも兼ねている</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>フェニックスだよりのなかにて定期的に行事内容と共にお知らせしている。お誕生月の方のお誕生会での写真を同封するなどの近況報告を兼ねている</p>		<p>写真を必ず同封できたらと考える</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し率直な意見、苦情を頂き管理者会議にて述べ、協議している</p>		<p>事業所全体での会議において、それぞれ積極的な意見を述べる事により、参考となる点多々ある</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>懇親会を定期的に設け、意見・提案、又は意見交換を行っている また、月に一度の割合で事業所の改善課題や疑問を述べる機会を設けている</p>		<p>様々な意見をより多く吸収・改善すべき点など検討課題とし役職会議で更に検討を重ねる</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>変化・要望に対応出来るだけの勤務調整は可能</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>十分な説明を行い、同意を得ている</p>		<p>異動時は、前任者、後任者が揃って説明を行い、入居者の方にご挨拶をしている</p>

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>新入職員の職歴や従来での事業所での取り組み・経験などを聞き、個人の持つ能力が十分に発揮できるよう、また苦手分野においてはわかりやすく指導する</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>新刊の介護書物を多数購入し、各自のじこを啓発に促している</p>		<p>各月の勉強会にて様々なテーマを上げ、心身ともに健全な状態でのケアを念頭に努力している</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内での研修会の実施、外侮での研修にも積極的に参加し、受講している。また、内部で伝達研修も行っている</p>		<p>参加した研修内容の発表の場を毎月の勉強会とし、日々の業務に活かせるよう職員全体の意識を高めている</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>サービス事業者協議会、認知症ケア研究会に加入し、情報交換の場としている。研修等で知り合った事業者の方とも、取り組みなどの情報交換を行っている</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>常に意見に耳を傾け、その都度に適切な助言を行っている。時には、勤務時間外においてもアドバイスを頂いている</p>		<p>日時を問わず、相談に応じて頂いていることでかなりストレスの軽減になつている</p>

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月の自己啓発票の提出を促し、努力の成果や反省、疑問点、要望、検討事項等に正面から向き合い、共に改善に向かって努力している		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居時、家族・本人を交えADL面、生活歴、医学的な身体状況、嗜好等を伺い、希望・要望に沿うライフスタイルを尊重し、アセスメントを行う		笑顔で接することを徹底し、一日も早く心を開いて頂けるよう努める
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家庭等から入居にいたるまでの相談内容を十分に理解し、入居にあたっての家族の希望を受け入れる努力をする		入居後の新たな希望・要望等の有無、その後の不安などを尋ねる
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家庭での介護に疲れている家族の現状を理解する。安心して入居して頂けるよう生活全般・医療面でのサポートを説明・実施する		家族間、家庭での問題行動等を伺いご苦労を察し、ねぎらうと共に当事業所として出来る限りのサポートをさせて頂く事を表明する
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の生活歴、性格等の認識・理解を職員が共有し、他の入居者の方々との和を図りながら、入居者と馴染めるよう表情、動作などから心理面、身体状況を注意深く見守っている		住居・対人関係等の不安の有無等を家族を通して、また入居者からの声を受容する
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個人の人格を何より尊重し、不安や悩みに耳を傾け共有し、解決に向かう助言に努力する 又、ニュース等でのスタッフ・入居者の意見交換等でも時間を共有する		郷里の話し、家族の話など気軽に発せられる雰囲気を作り、ホール内で全体の話題とする

## グループホーム フェニックス苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族面会時、また家族会出席の際などに本人との会話に困惑、不安を覚えられる時もあり、入居者の心理、体調面を知らせることで、理解し安心される		家族側にも状況の変化がみられ、その事情に応じて対応している(入院、事故等)
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来苑時、又は電話での連絡時等でその都度に本人の現状を報告し家族からの要望、相談に応じている		認知症の進行具合を家族の方に理解して頂く様説明すると共に入居者に家族の方の家庭事情を納得していただける様、わかり易く説明している
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望されている面会者や行きたい場所について家族に報告し、実現に向けての体調管理、心理面のサポートに努める		入居者の家族に希望されている面会者の実現をお願いしている
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う入居者同士の席の位置も重視しつつ、心理面を把握し時には席を変え新たな係わり合いを側面的にサポートする		ホール内では共通の話題、テレビの内容などを声かけし、それぞれの自由な発言を促している
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	たとえ契約終了であっても、電話連絡、来苑時には十分な対応を心がけている		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> 1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの個性をアセスメントに基づいた具体的な介護計画を作成し日々の暮らしに本人の要望の変化に気を配り対応するよう努めている		入居当時、現在との大きな変化が見られるとき、ゆつくりと話を聴く時間を持つ

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族、本人を交えて、ADL面、生活歴、医療面を詳しく傾聴し、これまでの受けられたサービス面での不安、要望をうかがっている		活気がなく過ごされるようになった時等これまでに伺った以外の趣味や好物などを改めて家族に尋ねる
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメント、介護計画書に基づく情報の他にも日々の生活での変化、心身の状態、ADLの低下などを見逃さず対応している		介護記録を参考に、また一日全体を通して観察に努める
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月に一度の見直しを行い、状態変化時は家族に随時報告、適宜見直し、変更している。また、職員からの意見を検討すると共に介護計画に活かしている		家族会参加、面会時に必ず本人との会話・コミュニケーションをとって頂き、現状を理解したうえでの意見や要望を伺っている
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	心理面、体調の変化、ADLの低下を把握し、即座に家族と共にその変化に対応した計画書を作成する		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のバイタルサインチェックを行い、コミュニケーションを図り表情、感情の変化、体調面を記録、特変等は申し送りで情報伝達し日々のケアに活かしている		出来る限り、入居者の細かな言動を記録し、小さな変化を見逃すことがないように注意を払っていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業主が内科医であり医療に関して密接な対応が出来る。また、デイサービスで行われている催事にも気軽に参加できる		毎月の誕生会、近所で行われる地域のお祭り、収穫祭などにご家族も一緒に参加される

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生員、あんしん会相談員の方との定期的な意見交換を取り行っている		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			他の介護支援専門員。サービス事業者との連携を図り活用を促せるように取り組みたい
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			地域包括支援センターとも連携を図り共同するよう取り組みたい
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業主が内科医であり、家族及び本人の希望により納得のいく医療を受けていただいている。 毎日の来苑にて、健康状態を把握している		毎日のバイタルおよび精神面の報告を行っている
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	事業主が内科医であり、個々の状況報告を密にし、診察・治療対処されている		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週に三回、看護師が勤務につき日常に健康観察には怠りがない		



## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>公共医療機関に依頼し対処して頂いている。入院中には事業主、管理者が出向き病院関係者との情報交換を行っており、退院許可が下りた場合には受け入れ準備をしている</p>		<p>ご家族、入院先との連絡を密にし、入居者の現状把握、退院に向けての居室の準備、清掃をする</p>
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化、終末期において本人および家族の意向、希望を確認し、医師からの説明、同意を行い全スタッフに周知させている</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>本人、家族の苦痛・不安の緩和を計ると共に、全職員の知識と技術の向上を図っている</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>退去時は家族の相談に応じ、転入先の関係者との情報交換を行いケアに役立てていただくよう努めている</p>		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者個人の人格尊重を第一とし、人格を損ねる言動には十分配慮している また 個人情報保護は厳守している</p>		<p>個々の性格や習慣を把握し、十分な配慮をする</p>

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ひとつ一つの行動の前にわかりやすい説明し、希望、要望を聞き同意と共に事に当たっている		自らすすんで庭の掃除、食器洗い、洗濯物たたみ等をしていただくことが多く職員全員で感謝の言葉を伝えている
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴等一日の予定の枠にとどめず体調、気分により個人のペースに添って過ごしていただき無理じいはしない		体調により入浴日、食事の時間を変更されることもあり、希望日、希望時間に合わせて過ごして頂いている
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人又は家族より美容院の希望がある場合は同行する		二ヶ月ごとに美容師による本人希望のヘアスタイルにしてもらっている
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			食器後片付け、食器洗いなど自ら行動に移される方もあり、また、食事の内容の感想など思い思いに発言され話しの輪が広がる
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人希望の嗜好品に付いては買い物代行、本人の体調良好時には買い物に同行している		毎日の三時のおやつ以外に希望される食べ物は購入している。又、おやつ時に翌日のおやつをそれぞれに尋ね、参考にしている
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夜間オムツ使用の方でも、日中はリハビリパンツを使用し、出来るだけ自立で排泄出来る様配慮している		排泄の誘導をこまめに行っている リハビリパンツ使用で排泄の意思をはつきり表現されるようになった

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日でなくても、本人の希望により入浴していただいている		入浴を大変好まれる方もあり、体調に問題がない場合は入浴日以外でも入っていただいている 逆に入浴を拒否される場合は無理じいせずタイミングを計り入浴を促している
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	緊張や疲労の程度に応じて居室で休んでいただいたり、ホットカーペットで心身を休めていただいている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事、特に炊事、台所仕事を好まれる方には食器洗い、食後の食器運び等、又、洗濯物たたみ等をしていただいている		裁縫が得意な方にはお手玉づくりをしていただく また、バレエを昔やつていたとの入居者とテレビ観戦にて昔話に華を咲かせている
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の金銭管理については、契約時に紛失時を想定し、本人と家族へ説明し了承を得た上で管理をしていない 個人で所持され買い物同行、代行している		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	苑の庭の草花への水遣りや近くの公園への散歩に出かけ、季節の変化を感じていただいている		戸外に出かけるのを日課とされている入居者もあり、毎日様々な活動をされている スタッフと共に落ち葉の掃除、植木、花の水遣り、散歩、草取り、庭掃除など
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	デイサービスセンターでの毎月の誕生会の参加や年に一度のお祭りへの参加を行っている		お祭りでは家族と一緒にの参加をしていただき、バザー・食事等で楽しんでいただいている 家族同伴のお花見を予定している

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも電話していただくようにしている		毎月、家族への手紙を書いて頂くようサポートしていきたい
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・知人等にも職員は常に笑顔で接し、居室にてお茶を飲みながら面会者と気兼ねなく楽しく過ごしていただくよう気配りしている		遠路来苑頂く家族もあり、笑顔でお迎えする事 感謝の挨拶も欠かさない
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切行っておらず、部屋の施錠やベット柵使用はしていない 入居者の動きには常に目を向けている		職員全体が理解しており、又拘束の違法性も熟知している 見守り強化で危険・問題行動に目を向けている
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設周囲の交通事情から、安全重視の門的で玄関には日中も施錠している 家族及び入居者の皆様にも理解と同意を得ている		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はホールで過ごされることが多く、台所、食堂、ホールが同室のため全体が見渡せる位置に机を配置し、記録時も見守り可能である 夜間も提示に限らず巡視を行う		昼夜を問わず、職員全体での個々の見守りを強化、物音などにも注意をはらっている
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・はさみ等の危険なものは保管しているがレクリエーションで使用する際は、入居者に自由に使っていただき見守っている 又、必要に応じて自由に使用していただいている		はさみを使用し、物づくりを行う場合などうまく出来る。出来ないを口にされ、皆さんと和気藹々とされている
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の習慣、特徴を把握し、緊急時のマニュアルを作成し、職員周知のもとに、事故を未然に防止するために細やかな声かけ、点検・確認を怠らない		あらゆる事故を想定し、確認を怠らない

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生マニュアルを作成している 周知し、対応している		初期対応の確認を定期的に行っている
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	建物の構造が二階建てであることから、緊急時の非難に問題点が多く、又入居者のなかに自力歩行困難な方もいるため課題が多い		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事業主である内科医師により、家族への説明が行われている 入浴、外出等バイタルチェックし対処している		入居者へも入浴時、散歩時に声かけし、家族が心配されないようにと側面からの注意を促している
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	介護日誌に細かく記載することを心がけ、顔色、バイタルチェックを怠らず職員全員が把握できるよう申し送りを行っている 又、連絡ノートに記載している		出勤時、業務に入る前に連絡ノート、申し送りにて把握し業務についている
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示通りに服薬して頂いている 誤薬防止として、容器から出さずとき、名前、日付、朝、昼、有、の確認をしている		服薬時は、注意深く観察し異変の発見に努めている
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な水分補給を心がけ、精神面、身体面において過度なストレスを避け軽体操や合唱等のレクリエーションを働きかけ また、個別に排泄誘導		排泄時のいきみがかなりの負担になるかたもあり、便秘とならないように水分摂取量を確認している

## グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケア施行 一部介助しながら、痛み、出血等の異常がないが観察する		義歯は就寝前にポリドント使用している また、食事時の表情にも注意を払っている
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事摂取量をチェックし記録、特に夏場の水分補給にも心がけている 嚥下機能低下や義歯を使用されていない入居者には、刻み食、ミキサー食で摂取していただいている		食前・食後・食間での水分補給を行っている 又、就寝前の水分補給も欠かさず施行
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員一同、マニュアルを熟知してもらい、疾患別の消毒方法を施行している 入居者への感染防止をこころがけ、うがい・手洗いの励行を行っている		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等は食器乾燥を行い、食品の保管場所、冷蔵庫、食器棚等常に清潔を保つため掃除を行っている		手洗い・うがいをこまめに行い、清潔な状態で食品の安全な取り扱いをしている 購入品においては、消費・賞味期限をチェックしている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関。入り口横にGHの表示、門扉もなく自由に人の出入りが出来る庭には、落葉樹、木、草、花、四季の花を植えて入居者の方の水遣りなども行っている		駐車スペースも木々に囲まれる中にあり清掃を協力する
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設が共同住宅の構造であり、又職員と過ごすホール・食堂には家族との雰囲気を感じる生活感がある。冬場にはホットカーペットを使用し、レクリエーションではテーブルを囲み行っている		

## グループホーム フェニックス苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・カーペットを使用し、個々思い思いに気軽におしゃべりの場、休息の場と使い分けをしてある。(寝転んでテレビを見るなど)		午前中には日当たりのよいカーペットで、みなさん休まることが多く常に清潔を保つよう清掃している
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は、安全性を重視しながらも、入居者の使い易いように家具を配置している。又、馴染みの日用品等も手元に配置している		使い勝手のよいテーブルの位置はそれぞれ違い、個々の好みで使用していただいている。雑誌を就寝前に読まれるなど居室でも気楽に過ごしていただいている
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	四季に応じて、個々の体調を考慮し、換気・室内の温度調節を適宜行っている		エアコン・ファンヒーター・ハロゲンヒーター使用 外気温に併せて調整している
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	脚力強化・転倒防止・安全歩行等の為に随所に手すりを設置している。又、個々の身体状況に合わせてベットサイドにブルを設置している		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には名札をかけており、トイレへは矢印でさりげない誘導をしている		トイレの場所・方向を違われた場合はその都度誘導する
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭先には、草、木、花を植えており、水遣りや花を摘んだりと楽しめる		二階の居室の入居者は、晴天の折にベランダへ出て日光浴をされたりしている

グループホーム フェニックス苑

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



## グループホーム フェニックス苑

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気、環境でのゆつたりした日常を送っていただく

個々の残存機能を活かし、趣味・特技を主とするその人らしいメリハリのある一日を過ごしていただく

屋内に閉じこもらず、身体状況に応じて、屋外での活動を行う